



中村 仁美

Nakamura Hitomi

平成23年度
採用

異動経歴

H23年採用 千葉農業事務所
H28年 農林水産部 生産振興課
R4年 君津農業事務所



Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

私は、農業に携わる仕事をしたいと思い、就職活動を行っていました。農業職として採用されると、現地で農家に技術指導をする「普及」、農業を支援するための事業を実施する「行政」、農業に係る試験や調査を行う「研究」と、多方面から農業に関わることができます。「農家の皆さんの力になりたい」という思いのある方であれば、自分の得意分野や興味のあることを生かして、農業に関わりながらやりがいを持って仕事ができると思います。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

今、私が担当している主な仕事は、水稻の普及指導員です。水稻の生育期間は定期的に生育調査を行い、水稻が順調に育っているかを確認したり、時期ごとの栽培管理について情報を発信しています。農家の方と情報交換をする中で、農家の方が何で困っているのか、話を聞いたりしながら、どうしたら農家の経営がよりよくなるのか一緒に考えたり、現地で試験を実施したりしながら、技術の議論をするということがこの仕事のやりがいです。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

生まれも育ちも千葉県だったので、地元で働きたいと思ったことと、千葉県はトップクラスの農業県でもあり、やりがいがあると思いました。

また、職員説明会の際に先輩職員から「仕事と子育てを両立できる」という話を聞いたことが、千葉県の職員を選んだ大きな決め手となりました。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

若い職員がたくさんいて活気があります。いつの間にか、自分も中堅となっており、後輩が一生懸命働いている姿から刺激をもらっています。以前は、男性が多い職種でしたが、最近は女性職員が増えています。また、自分と同じように子育てをしながら働いている同年代の仲間や先輩がいることが心強いです。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

この地域がどのような地域なのか、農家の方が何を考えているのか、何に困っているのか、一つひとつの出来事に耳を傾けたいと思っています。農家の方々と同じ方向を見て、仕事ができたらいいなと考えています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

普及指導員は農家の方と、農業の技術や経営といった面から関わることが多いですが、入庁後は農業に関する現場経験が少ないところからのスタートとなるので、聞かれた質問にすぐに答えられなかったりと大変でした。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

自信を持って紹介できる美味しい農産物や海産物があります。自然も多く、観光地もたくさんあるので、県職員になると千葉県の魅力をたくさん知ることができます。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

今は、子供が小さいので、毎日、育児休暇を取得し、通常よりも短い勤務時間で働いています。業務時間がしっかり決まっていることにより、家庭の時間との区別がしっかりでき、退庁後や休日は、家族と向き合える生活ができています。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

現在3か所目の職場となりますが、それぞれの立場で見える農業の姿が違うので、多くの業務を経験して、千葉県農業に役立つ存在に成長したいです。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

農業が好きの方、農家の皆さんを応援したい方、是非一緒に働きましょう。自分らしく働ける場所がきっとあると思います。

ある一日の流れをピックアップ

- 9:00 出勤・メールチェック
- 10:00 関係機関（市・JA）との打合せ
- 12:00 昼食
- 13:00 生育調査
- 16:00 調査結果とりまとめ・報告
- 17:00 退庁

※45分の育児休暇を取得

